

宮城県看護協会主催 フィジカルアセスメント研修を開催しました

2026年6月13日(土)と7月11日(土)に宮城県看護協会が主催する、フィジカルアセスメント研修がスキルスラボで開催され、宮城県内の訪問看護事業所や医療機関で訪問看護に従事する看護師25名が参加しました。講師は放送大学の山内豊明先生が務めました。

まず、6月13日の研修では、フィジカルアセスメント能力の向上と、呼吸音の聴き分けを習得することを目標とし、講義と呼吸音聴診シミュレータ（ラング）を用いた演習を行いました。演習では、どの部位で呼吸音が聴取されるか、呼気と吸気どちらで聴取されるか、音の性質はどんな特徴があるか等にポイントを置き学習を進めました。

7月11日の研修では、心不全を見抜くための観察ポイントや、心雑音について理解を深めることを目標に心臓病診察シミュレータ（イチロー）を活用した心音の聴診を行いました。呼吸音の聴診と比べると難しいような印象で演習をスタートしましたが、それでも繰り返し聴診し、参加者同士が互いにアドバイスし合いながら理解を深めていました。

参加者の満足度も高く、来年も開催予定としているようですので、ご興味のある方は検討してみてくださいはいかがでしょうか。

